



## 第2 実施内容

この前期重点プロジェクトの内容と、プロジェクトの目的達成のために特に関連の強い前期基本計画の中の施策は以下のとおりです。前期重点プロジェクトの目標値達成に向けて、「特に関連の強い施策」だけの実施に限らず、施策全体の取り組みやその他の施策の取り組みを推進します。

プロジェクト

1

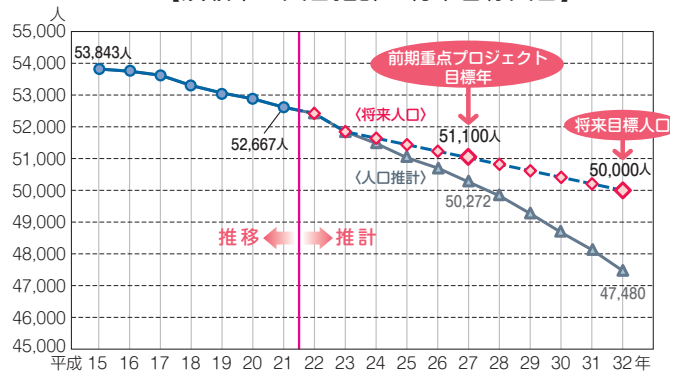
～暮らす人・訪れる人を増やそう～

### 人口増加プロジェクト

全国的に人口減少時代を迎えた中でも、発展し続ける須坂市を実現させるためには、人口の維持増加は必要不可欠なポイントです。まちづくりの基本である人口増加策に取組むことで、人の集まりや人の流れがまちを賑やかにし、まちを元気にします。須坂市のみならず、全国的にも人口減少社会という時代の大きな流れの中でも、須坂に暮らすみなさん一人ひとりがつくりだすまちの雰囲気や、みんなが引き出す須坂の良さが、人々を魅了する「人口吸引力」となり、「須坂市に住んでよかった」「須坂市に住んでみたい」と思える魅力的なまちになっていきます。

今後の人口推移をみると、平成32年度には人口が4万7,480人となる推計が出ています(11ページ:基本構想の「将来人口」を参照)。これは、平成21年度から平成32年度までに須坂市の人口が約10%減少することを意味していることから、この推計を上回る目標人口として、この減少幅を半分の約5%に抑え、5万人台を平成32年度に維持することを定住人口の目標とします。また、この目標に向け、前期重点プロジェクト最終年の平成27年の目標を5万1,100人とします。

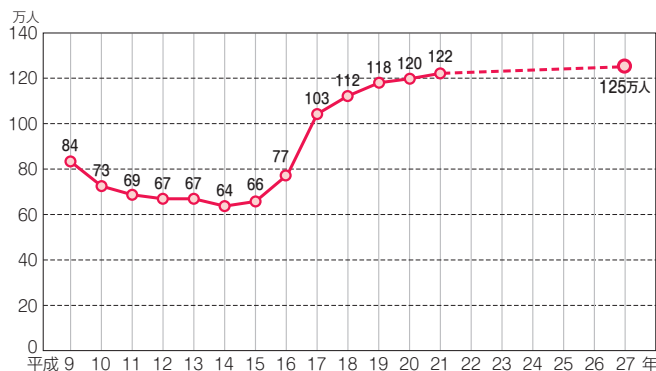
【須坂市の人口推計と将来目標人口】



出典：国勢調査報告をもとにした「コーホート変化率法」による推計

交流人口とはその地域を訪れ交流する人のことを指し、通勤・通学、買い物、スポーツ、観光、レジャーなどで訪れる人が含まれます。交流人口の目標については、施策28の「観光資源の活用」の施策指標である市内主要観光地の観光入込客数を交流人口の指標とします。交流人口は、平成9年に83万6,900人でしたが平成21年には122万2,400人となり、38万5,500人(46.1%増)と大幅に増加しています。今後もこの流れを維持するとともに、さらに増加させる目標値として、125万人を平成27年の交流人口の目標とします。

【須坂市の主な観光地への入込観光客数の推移】



出典：長野県観光地利用統計調査

三十段飾り 千体の雛祭り



写真提供：須坂市文化振興事業団



## プロジェクトの指標

指標の内容	数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
定住人口：須坂市の総人口	国勢調査	5万2,667人 →	5万1,100人
交流人口：観光地利用者数	観光地点数の 観光入込客数の合計	122万2,400人 →	125万人



## 特に関連の強い施策と施策指標

特に関連の強い施策・指標内容	数値の測り方	
	現状値	目標値(27年度)
<b>施策1 健康づくりの充実</b> 内容：「自分の健康は自分でづくり、守る」意識を持ち、健康づくり活動へ参加している人	各種健康教室、講演会、健康相談などへ参加した人数 7,017人	9,500人
<b>施策2 医療体制の整備</b> 内容：かかりつけ医から須坂病院への紹介数	市内診療所からの紹介人数 6,280人	6,900人
<b>施策9 子育て環境の整備</b> 内容：未整備の公立保育園数	施設整備が終わっていない公立保育園数 10園	0園
<b>施策25 新産業創出・企業立地の推進</b> 内容：県営日滝原産業団地や工業系用途地域への立地企業数	企業立地振興事業補助金などの累計交付件数（新設の用地取得・建物設置のみ） 2件	5件
<b>施策27 観光産業の振興</b> 内容：観光消費額	観光地点ごとの年間観光消費額合計 26億2,352万1,000円	27億5,500万円
<b>施策29 雇用機会の充実と産業人材の育成</b> 内容：就業支援センター（ゆめわーく）新規利用者数	年間新規利用者数 168人	240人
<b>施策31 有効利用の推進</b> 内容：市街化区域のうち、都市的土地利用の割合	基礎調査の土地利用別面積のうち、都市的土地利用の面積割合 85.4%	88%
<b>施策36 安心で快適な住環境や施設の整備</b> 内容：建物の耐震化率	建物総数のうち耐震化完了建物の割合 64.2%	90%

プロジェクト  
2

～健康で暮らし続けよう～

# 生涯健康都市プロジェクト

すべての人が生涯を通じ、こころも体も元気でいきいきとした生活を送れるよう、ライフステージ全般にわたる健康づくりを、市民のみなさんとの協働と様々な分野との連携により推進します。

市民のみなさん相互の支え合いのこころを醸成していくとともに、何歳になっても誰もが健康で生きがいを持ちながら暮らしが続けられるよう、医療・保健・福祉・介護サービスを充実します。



## プロジェクトの指標

指標の内容	数値の測り方	現状値 (21年度)	目標値 (27年度)
元気な高齢者数	介護や支援を必要としない高齢者の人数	1万1,912人	→ 1万3,320人



## 特に関連の強い施策と施策指標

特に関連の強い施策・指標内容	数値の測り方	
	現状値	目標値 (27年度)
<b>施策1 健康づくりの充実</b> 内容：「自分の健康は自分でつくり、守る」意識を持ち、健康づくり活動へ参加している人	各種健康教室、講演会、健康相談などへ参加した人数 7,017人	→ 9,500人
<b>施策2 医療体制の整備</b> 内容：かかりつけ医から須坂病院への紹介数	市内診療所からの紹介人数 6,280人	→ 6,900人
<b>施策3 みんなで助け合う福祉</b> 内容：福祉ボランティアの活動状況	福祉ボランティア活動の累計参加者数 1,604人	→ 1,800人
<b>施策21 スポーツ活動の充実</b> 内容：日ごろからウォーキングや競技スポーツなどスポーツをおこなっている人の割合	市民総合意識調査 個別設問 42%	→ 50%



おでかけ！健康教室 IN ひたき

プロジェクト  
3

～「人財」・「知財」をいかそう～

# 「人財」・「知財」育成活用プロジェクト

まちづくりの基本は人です。人をまちづくりの財産ととらえ、まちづくりをすすめていく上で子どもや女性、行動力と働く意欲を持った高齢者のみなさんなど様々な分野で活躍する「人財」を宝とし、次の「人財」を育て、活躍できる環境を整えます。また、須坂市に暮らすみなさんの知識や知恵、さらには地域の多様な文化を「知的財産」＝「知財」と捉え、須坂の豊富な「知財」をいかすことがまちづくりにつながり、私たちの生きがいや幸せにもつながります。

この須坂の「人財」「知財」をいかしたまちづくりをすすめるために、子育て環境や雇用機会、生涯学習、ボランティアなどの「人財」育成環境を整えるとともに、まちづくりへの参画意識や連帯意識、郷土愛の希薄化などの様々な課題を解決するために、「人財」の主体的な活躍と豊富な「知財」によりまちづくりをすすめます。



## プロジェクトの指標

指標の内容	数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
「人財」ととらえる人数や団体数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者雇用者</li> <li>・女性就業者</li> <li>・産業人材育成研修参加者</li> <li>・ボランティア登録団体</li> <li>・生涯学習推進リーダー</li> <li>・女性リーダーなどの合計数</li> </ul>	1万6,818人・団体	1万7,000人・団体



## 特に関連の強い施策と施策指標

特に関連の強い施策・指標内容	数値の測り方	
	現状値	目標値(27年度)
<b>施策4 高齢者福祉の充実</b> 内容：元気な高齢者数	介護や支援を必要としない高齢者の人数 1万1,912人	1万3,320人
<b>施策8 児童・青少年健全育成の推進</b> 内容：子育てセミナーの参加者数	子育てセミナーの年間参加者数 1,106人	1,150人
<b>施策9 子育て環境の整備</b> 内容：未整備の公立保育園数	施設整備が終わっていない公立保育園数 10園	0園
<b>施策19 生涯学習の機会充実</b> 内容：中央公民館・地域公民館の延べ利用者数	各館の年間延べ利用者数 18万9,520人	20万人
<b>施策20 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進</b> 内容：個人が生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動している	個人活動数のうち地域での活動数の割合 —	80%
<b>施策29 雇用機会の充実と産業人材の育成</b> 内容：就業支援センター(ゆめわーく)の新規利用者数	年間新規利用者数 168人	240人
<b>施策39 男女共同参画社会の実現</b> 内容：審議会などの委員のうち女性委員の割合	市の全審議会などの委員のうち女性委員の割合 30.7%	35%
<b>施策40 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進</b> 内容：ボランティア団体数	ボランティア登録している団体数 156団体	180団体

プロジェクト  
4

～地域の自然環境を守り、次世代に引き継ごう～

# 地域発 環境保全・エネルギー創出プロジェクト

須坂市には四季折々に美しい姿を見せる自然が豊かにあり、この自然はかけがえのない須坂市の財産・景観です。この豊かな自然の中で暮らしている私たちには、住環境の快適さのみを求めるのではなく、私たちの身近な地域から自然環境の保全やエネルギー創出を自発的に考え、須坂から発信する環境に対する意識を、地球規模での環境保全・エネルギー創出へと広げていきます。この活動を世代間へも広げ、豊かな自然を次の世代に変わらない姿で引き継ぐ使命が私たちにはあります。



## プロジェクトの指標

指標の内容	数値の測り方	現状値 (21年度)	目標値 (27年度)
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減率	平成21年の二酸化炭素排出量に対する年間排出量の削減割合	—	12.5%
太陽光発電施設の数	住宅や小中学校への累計設置数	381件	1,015件



## 特に関連の強い施策と施策指標

特に関連の強い施策・指標内容	数値の測り方	
	現状値	目標値 (27年度)
<b>施策10 自然環境の保全</b> 内容：主要河川BOD値(微生物が水中の有機物を分解する際に消費する酸素の量)の改善	市内7河川の観測地点(11地点)のうち目標基準(1.0mg/ℓ以下)を満たしている地点の割合 45%	100%
<b>施策11 環境を守る活動の推進</b> 内容：下水道水洗化率	下水道を使える区域の人口のうち水洗化した人口の割合 88.1%	93.1%
<b>施策12 循環型社会の形成</b> 内容：可燃ごみ・不燃ごみ排出量	市民ひとりあたりの年間ごみ排出量 可燃208kg 不燃11kg	可燃185kg 不燃9kg
<b>施策22 農業の活性化</b> 内容：支援制度を利用した耕作放棄地解消面積	累計解消面積 15.4ha	33.3ha
<b>施策23 森林の多面的機能の維持保全と共生</b> 内容：森林(もり)の里親制度の契約件数	累計契約件数 1件	5件
<b>施策31 土地の有効利用の推進</b> 内容：市街化区域のうち、都市的土地利用の割合	基礎調査の土地利用別面積のうち、都市的土地利用の面積割合 85.4%	88%
<b>施策33 公園整備とまちなか緑化の推進</b> 内容：自主的な緑化・花づくり実施数	花壇・フラワーロード整備など実施数 100か所	110か所

### 第3 前期重点プロジェクトのすすめ方

前期重点プロジェクトに掲げられたプロジェクトは各部署の専門的な力を集結し、目的達成に向け推進します。各プロジェクトに関連の強い施策以外の施策についても、各プロジェクトの目的達成のため推進します。

前期重点プロジェクトの推進については、複数部署にまたがる施策・取組みにより構成されているものが多いため、必要に応じて庁内推進本部体制を整備し、各施策・取組みの指標を活用して推進状況を総合的に管理していきます。また、市民のみなさんとの共創で、横のネットワークを強化し、目標達成をめざします。

《前期重点プロジェクト 施策一覧》

人口増加	生涯健康都市	「人材」・「知財」 育成活用	地球発 環境保全 ・エネルギー創出	施 策	基本施策
				1 健康づくりの充実	1 健康な暮らしの充実
				2 医療体制の整備	
				3 みんなで助け合う福祉	2 社会福祉の充実
				4 高齢者福祉の充実	
				5 障がい福祉の充実	
				6 生活困窮者への支援	
				7 特色ある魅力的な学校づくりの推進	1 教育環境の充実
				8 児童・青少年健全育成の推進	
				9 子育て環境の整備	2 子育て支援の充実
				10 自然環境の保全	
				11 環境を守る活動の推進	1 地域から考える自然環境の保全
				12 循環型社会の形成	
				13 環境衛生施設の整備	
				14 防災体制の充実	
				15 消防・救急体制の充実	2 安全に暮らせる生活支援
				16 交通安全対策の推進	
				17 地域安全対策の推進	
				18 消費生活の安全	
				19 生涯学習の機会充実	1 生涯学習・文化芸術を創造し、 発展するまちの基礎に
				20 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進	
				21 スポーツ活動の充実	2 市民スポーツ活動の充実
				22 農業の活性化	
				23 森林の多面的機能の維持保全と共生	1 地域資源をいかした農林業の充実
				24 既存産業の高度化・高付加価値化の促進	
				25 新産業創出・企業立地の推進	2 時代のニーズに対応できる工業
				26 商業の活性化	
				27 観光産業の振興	3 人々が賑わうための商業振興
				28 観光資源の活用	
				29 雇用機会の充実と産業人材の育成	5 雇用の確保と充実
				30 労働環境の整備と勤労者福祉の推進	
				31 土地の有効利用の推進	1 自然とともに暮らすための土地の有効利用
				32 景観の保存と創造	
				33 公園整備とまちなか緑化の推進	2 すばらしい景観やたくさんの緑と おいしい水のまちづくり
				34 水環境の保全と水道水の安定的な供給	
				35 橋や道路整備の推進	
				36 安心で快適な住環境や施設の整備	
				37 公共交通の確保	3 快適な居住環境の整備
				38 人権が尊重される社会の実現	
				39 男女共同参画社会の実現	1 幸せな社会は人権尊重と共同参画から
				40 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	
				41 特色をいかした地域振興の推進	2 行政運営から都市経営への移行
				42 情報発信、広聴・広報の充実	
				43 ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用	
				44 地域コミュニティの活性化	
				45 総合計画の推進	
				46 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり	
				47 長期的展望に立った財政運営	

第1部 基本構想

第2部 基本計画

重点  
プロジェクト

健康・福祉

子育て・教育

環境・安心安全

文化・スポーツ  
など

産業振興

都市基盤整備

行政経営

資料編

◇コラム

## すざか まちづくりミーティング

「声なき声を聴き、計画に反映させる」

第五次須坂市総合計画づくりをめざして行われたのがすざか まちづくりミーティングです。

今後、力を入れて解決すべき課題についてその背景などを探り、解決するために、市民のみなさんと行政がこれからどうしたら良いのかを市長へ提言していただき、計画に反映させることを目的とします。

これまで、市役所が実施する事業などに意見を伝える機会が少なかった市民のみなさんからも幅広いご意見をいただくために開催しました。これまでのように広く周知して参加者を募るのではなく、無作為抽出で選んだ市民のみなさんに参加を依頼し、同意した方にすざかまちづくりミーティングに出席していただきました。

無作為抽出した1,000人の市民のみなさんのうち、18人の方から参加同意をいただき、平成22年2月20日と21日の2日間にわたり開催しました。

須坂市のまちづくりについて普段感じていることや行政のまちづくりについて説明を聞いて、感じたことをグループごとで話し合い、意見をまとめていただきました。



2日間の話し合いでは、「安心して暮らせるまちづくり（健康、福祉、子育て）」と「活気を生み出すまちづくり（商業、工業、観光）」について、市からの説明を聞いた後、グループで話し合いました。説明を聞いて初めて知った事業などもあり、参加者のみなさんに事業内容を知っていただく良い機会でもありました。また、昼食には「みそすき丼」、休憩時には須坂産の材料を使ったお菓子など、須坂の食に対する取組みを知っていただく機会を設けました。



終了後のアンケートでは、「市が取組んでいることが知られていないと思います。ぜひ今後ともこのような機会を設けて下さい。」「素人が気軽に話せるのがよい。」「大勢の方が同様の問題意識、意見をもっていること。集約して実行することが重要。みんな違った意見・発想がとてもユニークであった。」といった積極的な意見が多くありました。

第五次須坂市総合計画には、すざか まちづくりミーティングに参加されたみなさんから出された意見が載っているほか、「子育て、教育、医療、福祉、すべてのネットワークシステムがいかされている須坂市」や「須坂市の良い所をいかした取組み（自然、果実のおいしさ）」などの意見に対する考えや思いが盛り込まれています。